

環境文教委員会 送付26-21

千代田区内のゴミのポイ捨ての対策強化を求める陳情

受付年月日 平成26年7月31日

陳情者

## 陳情書

(趣旨)

千代田区内を歩いていると、一般ゴミやタバコの吸い殻、空き缶、空きペットボトルなどのゴミが路上などに放置されている状況を目にします。

こういったポイ捨てを防ぐ、またはゴミを除去する千代田区の取り組みをより強化して頂きたく、陳情申し上げます。

私案を挙げますと、

- 1、ゴミ箱設置数を増やす
- 2、ゴミ拾いをするゴミ清掃員に千代田区内をこまめに巡回してもらう
- 3、コンビニなどにゴミ箱設置義務を条例化する

等が浮かびますが、私案に過ぎませんので宜しく議論して頂けたら幸いです。

ゴミ箱の設置数をもう少し増やすべきだとも思いますが、ゴミ箱を設置の懸念として、財政負担やテロの温床、家庭ごみを捨てたり、ゴミ箱に捨てればいいやとゴミを持ちかえろうという意識の低下促進などが考えられます。しかし、現状、ゴミ箱設置をコンビニなど民間事業者に負担を強いている状況を考えて、自治体として、民間任せにしてしまうのも、いかがなものとも思います。

もし、国民や観光客のモラルに期待し、ゴミ箱を極力設置しない方針であるのなら、せめて、千代田区内にゴミ清掃員を巡回させて、ゴミを回収すべきだと思います。ゴミを片付ける、その光景を見れば、ポイ捨てを改める契機になるやもしれません。

現状、コンビニにゴミ箱が設置されておりますが、コンビニだと店員さんが居りまずし防犯カメラも設置してありますので、少なくとも公園にポツンと置いてあるゴミ箱よりは、モラルや安全は保たれると思います。なので、例えばですが、条例でコンビニ等にゴミ箱設置を義務化するというのも一つの手です。ゴミを捨てたいなと思った時、一般的な感覚としてコンビニを探す、現代日本社会です。捨てる方も、どこにあるかわからないゴミ箱を探すよりも、コンビニを探す方が早いです。条例化すれば、少なくとも現在よりも、気兼ねせずにゴミを捨てる事が出来ます。財政負担や利便性、防犯性などを考えて、そうした方がいいのなら、それも手です。

条例化するにあたっては、コンビニのゴミ箱のゴミを事業ごみでは無く家庭ごみと同じように回収するようにしたり、または、ゴミの量に応じて補助金を支給するような形なるべくコンビニが負担にならないように行政がサポートしていくという方法もあるのかと思います。もちろん、家庭で出たゴミをわざわざコンビニのゴミ箱に捨てるのは禁止にするのは言うまでもありません。

本来であれば、人間のモラルに信頼したいところなのですが、飲酒運転や喫煙でもわかるように、法整備が先行しないと社会的機運が高まらないのが現状の日本社会であります。

ベストな方法というのは、手探りで探して行くしかありません。試行錯誤しながらでも、やってみないと、ベストを発見する事すら出来ません。少なくとも、現状、ゴミが落ちているわけで、それを拾う必要があります。ポイ捨てをさせない、しな

い環境を作る必要があります。

千代田区は日本の中心地であり、観光地でもありますから、日本国内や世界から観光に訪れる人に対して、自宅までゴミを持ちかえらせるというのは、あまりに非現実です。

江戸や明治の頃、日本に来た外国人はゴミ一つ落ちていない日本の町並みに感動したと聞きます。かたや現代の日本はどうでしょうか。外国の方々に現代の日本は残念だなと思われたくないですし、もし、そう思われたなら、先人に申し訳が立ちません。それ以前に、いち千代田区民として、住んでる街が綺麗である事を望みます。

以上になりますが、ご検討のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

以上

平成26年7月31日

千代田区議会議長 嶋崎 秀彦 殿